

八

12

立案 昭和五年五月八日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長



宗秩寮總裁

宮内事務官

件 故海軍中佐栗本敏樹位階追陞

昭和五年五月九日付
昭和五年五月七日裁可
五月一日達
臺帳記入
五月九日官報報告濟

宮内省

裏面白紙

354 濟



故海軍中佐栗本敏樹位階追陞

、件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十二年十二月七日

内閣總理大臣公爵近衛文磨



内

閣

裏面白紙

海澄第三三五號

案起

昭和十二年十二月七日

裁可

昭和十二年十二月七日

施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍中佐栗本敏樹位階追陞
ノ件

例 辭 令 案
文

十一月一日付

内閣

敍從五位照皇年十月日死故海軍中佐正六位勲四等栗本敏樹

大正十一年六月一日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官敍位進階内則第四

條、二ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十二年十二月六日

海軍大臣米内光政



海軍

Large empty rectangular frame with vertical lines, likely for a signature or additional text.

海秘入第五三七號

昭和十二年十二月六日

海軍大臣 米内光政



内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

故海軍中佐栗本敏樹ハ多年軍職ニ在リテ
 克ク其ノ任務ヲ盡シ功績顕著ノ者ニ候
 處十一月一日敵飛行場爆撃ノ歸途隴
 海線劉庄驛附近ニ於テ敵彈ヲ為敵
 地ニ突入所在不明トナリ極力搜索セ
 ルモ諸般ノ情況ニ照シ到底生存ノ見
 込無之十一月一日戦死ト認定候ニ付
 テハ特ニ位一級被追陞度別紙上
 奏書進達ス

海軍

美濃全葉十行算紙 (富井納)



裏面白紙

丙 奏言

一故海軍中佐二位左四位西本敏樹

右特旨ヲ以テ敍位相成候ニ付位記竝辭令及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十年十一月九日

宗秩寮總裁事務取扱男爵曾根松

海軍大臣

宮内省

(複製)

359